

令和5年度
「中学生モ二夕一会議」
活動記録

東京都北区総務部区長室

<はじめに>

北区では区民の方々から、区の施策に対する意見・要望・提案等を直接伺う「区政モニター会議」を開催しています。この「区政モニター会議」は、意見・要望・提案等を伺うだけでなく、区政への理解を深めていただくことも目的としています。

このほか、各世代が抱える課題や地域・区政が抱える課題等について話し合い、大人では気付かない視点から意見・要望・提案等を出していただく場として、小学生を対象とした「小学生との区政を話し合う会」、中学生を対象とした「中学生モニター会議」、高校生を対象とした「高校生モニター会議」を開催しています。

さて、このたび、中学生を対象とした「中学生モニター会議」を行い、活動記録を作成いたしました。

今年度は、「子どもの権利」及び「楽しい学校生活を送るための取組」というテーマのもと、夏休み中の5日間（施設見学会含む）のべ12時間の会議を行いました。

はじめに、各グループで、テーマに関する話し合いを重ね、発表会に向けて発表資料を作成していただきました。そして、最終日の発表会では、区長の前で作成した発表資料をもとに、「誰もが学校で楽しく学び生活を送るために、学校でどんな取り組みがあると良いか」「（仮称）北区子ども条例」に込めたいメッセージ」について発表していただきました。

この活動記録では、中学生モニターの皆さんが「区に対して行った提案の内容」や、「提案に至るまでの経過」を紹介しています。

なお、中学生モニターの皆さんからの提案については、今後の区政運営の参考として、引き続き、若い世代の貴重な意見を区政に反映するよう努めてまいります。

令和5年11月

東京都北区総務部区長室

目 次

1 「中学生モニター会議」活動内容.....	1
2 「中学生モニター会議」発表会会議録.....	10
1. 開 会.....	10
2. 区長挨拶.....	10
3. 教育委員紹介.....	11
4. 活 動 報 告.....	11
5. 各班発表・質疑応答.....	11
6. 講 評.....	29
7. 感 想.....	33
8. 閉 会.....	35

1 「中学生モニター会議」 活動内容

令和5年度の「中学生モニター会議」には、16名の中学生に参加していただきました。はじめに全体を通しての「活動内容」を紹介していきたいと思います。

「中学生モニター会議に参加してみようかな」と思っている中学生の皆さんは、ぜひ参考にしてください。

令和5年度中学生モニター 活動実績

会 議	日 時	会 場	内 容
委嘱式 ・ 第1回会議	7月24日(月) 13:00~13:30 同日 13:30~16:00	北区役所 滝野川分庁舎 2階教育委員会室	・委嘱式 ・班内での自己紹介 ・「楽しい学校生活を送るための取組」についての現状把握、話し合い
第2回会議	7月26日(水) 9:00~12:00	北区役所 滝野川分庁舎 大会議室	・「楽しい学校生活を送るための取組」についての話し合い、提案検討 ・発表資料の作成
第3回会議 (施設見学)	7月28日(金) 9:00~12:00	中央図書館 3階会議室	・施設概要の説明 ・施設見学 ・「子どもの権利」についての話し合い
第4回会議	7月31日(月) 13:00~16:00	北区役所 滝野川分庁舎 2階教育委員会室	・「子どもの権利」についての話し合い、提案検討 ・発表資料の作成 ・発表会に向けた練習
発表会	8月2日(水) 9:00~12:00	北区役所 滝野川分庁舎 大会議室	・テーマ（「子どもの権利」及び「楽しい学校生活を送るための取組」）についての提案報告

(1) 委嘱式

中学生モニターの最初の顔合わせです。自己紹介をしたり、今後のモニター会議の流れ等について説明を聞きました。

委嘱式の様子



グループワークの様子



(2) 施設見学会

今年度は北区十条台にある「中央図書館」にて施設見学会を行いました。赤レンガ倉庫やユニバーサルデザインを取り入れた施設であり、図書館の施設や業務内容についての説明を受けたモニターは、普段なかなか入ることのできない施設の裏側を見学しました。

施設概要説明の様子



配付資料



(3) モニター会議

中学生モニター会議の中心となる活動です。活動は夏休みに集中させ、学校の行事や学業に支障がないよう行いました。

今年度は、3つの班に分かれ、班ごとにグループワークを行いました。グループ

ワークでは、「子どもの権利」及び「楽しい学校生活を送るための取組」の2つのテーマについて、取り組みました。「子どもの権利」については、「最も重要だと思う権利は何か」→「子どもを守るために大人はどのような取り組みをする必要があるか」→「条例の前文に込めたいキーワードの検討」という流れで考えていただきました。また、「楽しい学校生活を送るための取組」については、「学校が楽しくない理由」→「解決につながる取組の検討」という流れで、考えていただきました。

「話し合い」や「会議」というと、なんだか堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、そんなことはまったくありません。実際に参加してくれたモニターからも、「同年代の違う学校に通う生徒と意見交換ができてよかった」「自分が思いつかないようなアイデアがあって刺激を受けた」などの感想を寄せてくれています。

気楽な雰囲気の中で自分の意見を発表してもらえよう心がけていますので、ぜひ、皆さんもモニターに応募してください。

きたコン（学習用端末）を
使用したグループワークの様子



グループワークの様子<1班>



グループワークの様子<2班>



グループワークの様子<3班>



(4) 発表会

区長や区の関係者が出席するなか、区への提言と感想を発表してもらいました。

皆さん緊張した面持ちでしたが、発表会を終えると、最後には清々しい表情を浮かべ、達成感を感じている様子が印象的でした。

発表の様子<1班>



発表の様子<2班>



発表の様子<3班>



発表に使用した資料<1班>



1 ページ



2 ページ



3 ページ

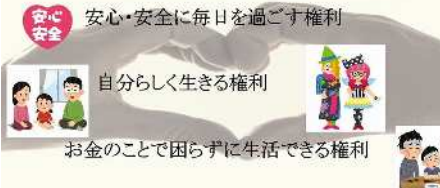
幸せを感じる時



- ・努力が報われたとき
 - ・自分のやりたいことがやりたいときにできたとき
 - ・願いがかなったとき
- そのためには...

4 ページ

必要な権利



5 ページ



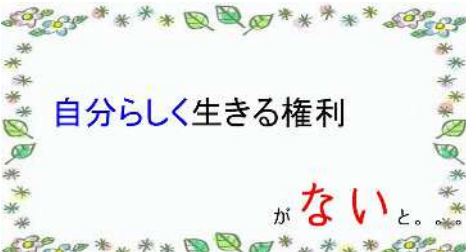
6 ページ

児童虐待

交通事故



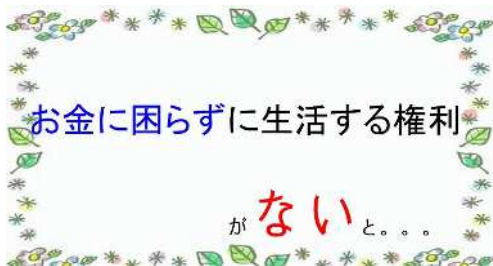
7 ページ



8 ページ



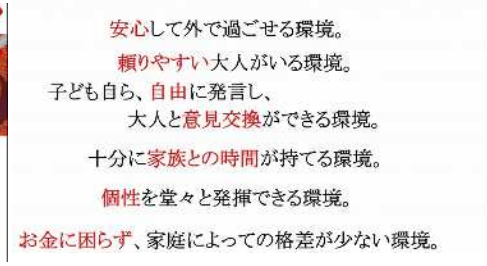
9 ページ



10 ページ



11 ページ



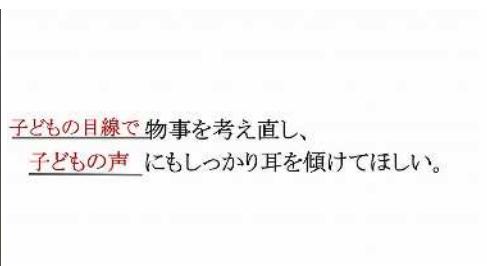
12 ページ



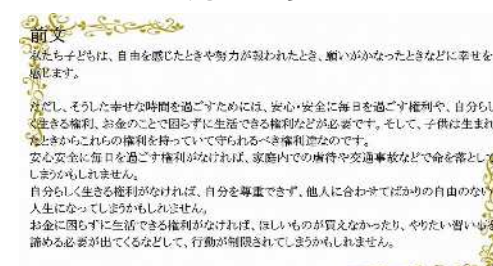
13 ページ



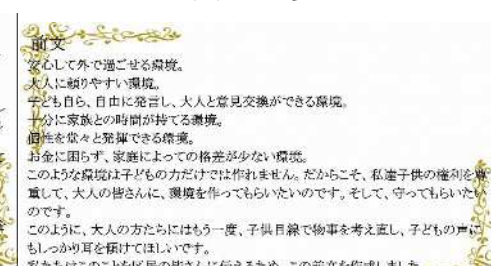
14 ページ



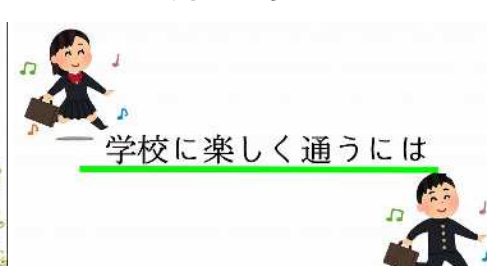
15 ページ



16 ページ



17 ページ



18 ページ



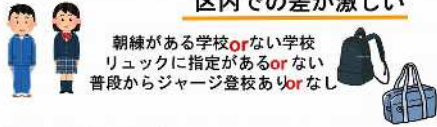
19 ページ

4つの理由

- ①荷物が重すぎる。
- ②落ち着ける場所が少ない。
- ③他校との繋がりがなく、区内での差が激しい。
- ④校外の活動が評価されにくい。

22 ページ

③他校との繋がりがなく、区内での差が激しい



他校との繋がりがほぼない
→他の学校にあって自分たちの学校にはないもの、新しい文化を取り入れられない。

25 ページ

①荷物が重すぎる

教科書のデジタル化をもっと増やす
教科書を減らすことで少しでも負担を軽くできます

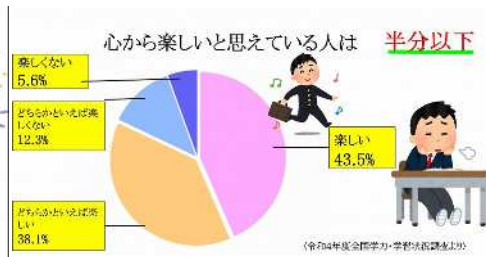
ある中学校では数学と英語だけ、またある中学校ではデジタル教科書を使用していません

28 ページ

④校外の活動が評価されない

- ・個人の活動
 - ・部活外の活動 など
- も部活と同等の評価をしてもらいたい
例) 成績表に所属クラブを記入

31 ページ



20 ページ

①荷物が重すぎる

学年	平均重さ
小学校低学年	5.6kg
小学校高学年	5.3kg
中学生	10.9kg
高校生	10.1kg

23 ページ

④校外での活動が評価されにくい

水泳 新体操 学校にない

校外のクラブに通う那些人について公平に評価されていない

26 ページ

②中学生の落ち着ける居場所が少ない

中学生だけの場所をつくる!

- ・雑誌や本がおいてある。
- ・カードゲームなどがある。
- ・ジュースなどが買える。(お金は払うが中学生でも払える値段)
- ・お菓子やジュースの持ち込みOK!

29 ページ



21 ページ

②中学生の落ち着ける場所が少ない

学校外
児童館は小学生まで
高校生は電車を頻りに使うようになって行動範囲が増え、居場所が増える

学校内
いろんな人がいろんなことをして落ち着けない
・友達と話してる人
・走り回ってる人
・集団でごちゃごちゃしてる人

24 ページ

これらを克服するための解決策

27 ページ

③他校との繋がりがなくて、区内での差が多い

- ・学校同士の意見交換の場を定期的に関く
- ・運動会の行き来を許可する
- ・北区内の学校の年間行事表の提示

30 ページ

まとめ

- ①教科書のデジタル化をもっと増やす
- ②中学生だけの場所を作る
- ③他校との交流、意見交換の場を増やす
- ④校外の活動も部活動と同等の評価する

32 ページ

発表に使用した資料<2班>

(仮称)北区子ども条例前文
に込めたいメッセージ

2班

1 ページ

【幸せに感じる時】

寝てる時 美味しいものを食べているとき 誰かに褒められたとき

2 ページ

【幸せに感じる時】

寝てる時 美味しいものを食べているとき 誰かに褒められたとき

権利が必要!!

3 ページ

必要な権利

プライバシーが尊重される権利 遊ぶ権利 お金のごとで困らずに生活できる権利

4 ページ

そのために大人にしてほしいことは...

- ・子どもを褒める!!!!
- ・子どもを見る!!!!
- ・子供の頃何をしてほしかったか思い出す!

5 ページ

まとめ

- 1.子どもにも権利はある
- 2.子どもに必要な権利は守って欲しい
- 3.子供のことを思っていて欲しい

6 ページ

(前文)

私たち子どもは、寝るときや美味しいものを食べているとき、誰かに褒められたときなどかとても幸せです。ただし、そうした幸せな時間を過ごすためには、プライバシーが尊重される権利、遊ぶ権利、お金のごとで困らずお金のごとで困らずに生活できる権利に生活できる権利といったものが守られる必要があります。なぜなら、プライバシーが尊重される権利は自分の身を守るために必要で、遊ぶ権利はストレスをためないように必要、お金のごとで困らずに生活できる権利は生きるためのすべての行動はお金がないとできないから必要といった理由からです。そして、こうした権利が守られるために、北区や区民の皆さんには、子どもを大切に、誠実に褒めて、子どものことを理解をわきまえて見守るようにして生活する、そしてどうか自分たちが子どもだった頃を思い出して行動してほしいと私達は心の証から願っています。

私たちはこのことを区民の皆さんに伝えるため、この前文を作成しました。

7 ページ

誰もが楽しく学校に行くための取り組み

8 ページ

なぜ学校に行きたくないのか

クラスメイトが嫌い 先生が苦手・嫌い 授業がわからない勉強嫌い

9 ページ

解決策

クラスメイトが苦手

- 1.様々な人と関わる
 - ・自分が変わる
 - ・イベントを多くする
- 2.ポジティブに考える
 - ・様々なことに積極的になれる

↑

毎日が楽しく思える ストレス軽減
スキル、キャリアのステップアップ

10 ページ

解決策

先生が苦手

- 1.自分が行動する
 - ・話しかけに行く
 - ・苦手な先生との接点を少しでも増やす
 - ・信頼できる先生を探す

↑

相談することも出来る
・いいところを見つける

11 ページ

解決策

勉強が苦手

- 1.めげずにやってみよう
 - ・目標を立ててから取り組む
 - ・時間がないを言い訳にしない
 - ・環境づくり
- 2.先生に個人的に教えてもらう
 - ・分かりやすい解説
 - ・教科内容を深めることが出来る

⇔

- ゴールを作る
- 時間を作る
- 集中力を上げる
- 先生克服のチャンス
- 勉強がわかるように

12 ページ

発表に使用した資料<3班>

中学生モニター会議
3班

1 ページ

(仮称)北区子ども条例
～前文に込めたい
メッセージ～

2 ページ

1 番幸せを感じる時は...

- ・できなかったことができるようになったとき
- ・自分の好きなことに打ち込めるとき

3 ページ

私達が必要だと思う権利は...

- ・失敗してもやり直せる権利
- ・遊ぶ権利
- ・自分らしく生きる権利

4 ページ

子どもの権利を守るために
大人にしてほしいこと

やりたいことが気軽に
できる環境を作ること

5 ページ

前文の案

私達子どもは、できなかったことができるようになったときに幸せを感じます。その他にも子どもたちがやりたいことを好きにだけできると楽しいという理由から、「失敗してもやり直せる権利」、「遊ぶ権利」、「自分らしく生きる権利」が保証されると、より毎日を不安なく、笑顔で生きることが出来ます。

次へ続く

6 ページ

前文の案

ただし、すべての子どもがこうした幸せな毎日過ごしているわけではありません。また、こうした幸せは、私たちの思いだけでは実現しません。そこで、大人の皆さんに、やりたいことをひろびろと好きにできる環境を作るといったことをお願いします。

私たちはこのことを区民の皆さんに伝えるためにこの前文を作りました。

7 ページ

誰もが学校で楽しく学び、
生活を送るために、どんな取り組み
があれば良いか

8 ページ

学校で楽しく生活するためには？

9 ページ

学校が楽しいと感じない理由

- ・授業に集中できない、ついていけない
- ・友達や先生との関係に不満がある
- ・部活動が厳しい
- ・スクールカウンセラーさんに話しづらい
- ・校則が厳しい
- ・学校の設備が充実していない

10 ページ

色々な区での取り組み
例

- ・定期考査の廃止 (千代田区)
- ・休日の部活動の廃止 (台東区)
- ・年齢別に参加事業や相談事業を用意 (練馬区)

11 ページ

学校でどんな取り組みがあればよいか
(北区への提案) 1

<授業に関して>

- ・実際に体験して学ぶ授業を増やす
- ・学習に適した場所を用意する(自習室など)
- ・テストを減らす
- ・学習に適した環境にするため、生徒に希望を開き、クラスを分ける

12 ページ

学校でどんな取り組みがあればよいか
(北区への提案) 2

<校則や部活、カウンセラーに関して>

- ・土、日曜日の部活動は自由参加にする
- ・先生とスクールカウンセラーで、情報交換をしない
- ・校則について考え直す時間を生徒会で設けるよう推奨する
- ・学校の設備の故障の把握、修理を行う

13 ページ

学校でどんな取り組みがあればよいか
(北区への提案) 3

<その他>

- ・不登校の生徒に対して手厚く支援を行う
- ・近くの学校や、自分の行きたい学校に行けるようにならう

14 ページ

ご清聴ありがとうございました

15 ページ

集合写真<1班>



集合写真<2班>



集合写真<3班>



2 「中学生モニター会議」発表会会議録

次に、中学生モニター会議の主目的である、区長をはじめとする区関係者に向けたモニター会議発表会の内容についてまとめました。以下は当日の会議録になります。

- 日 時 令和5年8月2日（水）午前9時から12時
- 場 所 北区役所滝野川分庁舎1階 大会議室
- テーマ 【子どもの権利】及び【楽しい学校生活を送るための取組】
- 出席者 中学生 10校14名
区長、教育長、政策経営部長、教育振興部長、教育政策課長、教育政策課職員、子ども未来部長、子ども未来課長、子ども未来課職員、区長室長、区長室職員

1 . 開 会

◎区長室長

本日はご出席いただき、ありがとうございます。

令和5年度中学生モニター会議、今日は発表会でございます。よろしく申し上げます。

今日も委嘱式のとおりと同じように広報課の報道の担当も来ておりますので、また皆さんの様子を写真で撮らせていただきます。

また、ケーブルテレビのJ：COMも取材に来ておまして、皆さんの様子を録画させていただきます。放送は8月7日月曜日の午後5時から「ジモト応援東京つながるNEWS」内で放送する予定となっております。また、再放送は同じ日の午後8時半、午後10時半、8月8日午前10時にも放送します。J：COMアプリでも8月8日午前から見る事ができますので、ぜひ自分の発表の様子を聞いていただいたり、ご家族の方と見ていただければと思います。よろしく申し上げます。

この発表の後に取材を受けていただける人がいたら、取材を受けていただければと思いますので、よろしく申し上げます。

それでは、最初にやまだ区長からご挨拶を申し上げます。お願いします。

2 . 区 長 挨 拶

◎やまだ区長

おはようございます。

今日は、いよいよ発表の日です。楽しんで、元気いっぱいやっていただければと思います。頑張ってください。

3 . 教育委員紹介

◎区長室長

それでは、今日、最初の委嘱式のとくと同様に区の幹部の職員も来ているほか、今日は教育委員の方にもご参加いただいていますので、教育委員の方をご紹介しますいただきます。

〇〇〇委員（教育委員A）でございます。

◎教育委員A

よろしくお願ひいたします。

◎区長室長

〇〇〇委員（教育委員B）でございます。

◎教育委員B

よろしくお願ひします。

◎区長室長

〇〇〇委員（教育委員C）でございます。

◎教育委員C

よろしくお願ひします。

4 . 活動報告

◎区長室長

それでは、発表に入る前に、これまでの活動についての報告を簡単にさせていただきます。資料に「中学生モニター活動実績」というものをご用意してございます。

7月24日に委嘱式を行い、その後グループに分かれて、条例の理解を深め、それから子どもの権利について検討したり、グループワークをしていただきました。2回、3回以降、そういったグループワークをしていただくとともに、3回目は中央図書館の施設見学をしていただいたかと思ひます。そして、今日、5回目は発表ということで、4日間にわたって取り組んでいただいたグループワークの成果を発表していただきたいと思ひます。

5 . 各班発表・質疑応答

◎区長室長

それでは、早速ですが、グループワークの成果を各班から発表していただきます。発表は、1班から2班、3班の順番でお願いしたいと思ひます。発表の前に、お名前と学校名、それからこの活動をしたときの簡単な感想を一言言っただけであればと思ひます。1人1分、1班あたり5分程度の発表となりますけれども、よろしくお願ひします。

それでは、早速ですが、1班の皆さん、よろしくお願ひします。

◎中学生モニター（1班）

赤羽岩淵中学校2年の〇〇〇です。

今回の中学生モニターで学んだこととか思ったことは、まずすごい楽しかったです。あと、違う学校との交流があって、自分の学校ではあり得ないと思っていたことがほかの学校では普通にあったりするのがすごいと思いました。そして、自分の学校に戻ってからも、今回の学習を自分の学校でも取り入れられるような努力をしていきたいと思います。ありがとうございます。

◎中学生モニター（1班）

〇〇〇中学校の〇〇〇といいます。

〇〇〇さんも言っていたんですけど、私も他校の人と関わらせてすごく楽しい5日間でした。前日までほかのみんなと一緒にまとめたりいっぱいできて、交流も深めたかなと思います。自分の将来にもつなげるよう、この発表がうまくいけばいいなと思っています。ありがとうございました。

◎中学生モニター（1班）

十条富士見中学校の〇〇〇です。

この5日間、とても楽しく活動ができ、すごい充実した5日間になりました。今回話し合ったことなどをここで終わりにせず、この先の生活にもいろんな場所で生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

◎中学生モニター（1班）

飛鳥中学校の2年、〇〇〇です。

このモニター会議みたい自分で立候補するとか、したいと思った人たちが集まって話し合いができる機会というのはそんなにたくさんあるものじゃないと思うし、それはまた学校と違っていろんなすごい意見が出てきたり。あと、学校が違うというところもあって考えが深められた部分もあるので、すごく貴重な会議、貴重な行事に参加できてとてもうれしかったです。ありがとうございました。

◎中学生モニター（1班）

これから1班の発表を始めます。よろしくお願いします。

私たちの発表は、ぜひ皆さんが子どもだった頃を思い出しながら聞いてください。

初めに、「（仮称）北区子ども条例」に込めたいメッセージについてです。

私たちは、自由を感じたときや努力が報われたとき、願いがかなったときなどに日々幸せを感じます。ただし、そうした幸せな時間を過ごすためには幾つかの権利が必要です。それは、安心・安全に毎日を過ごす権利、自分らしく生きる権利、お金のことで困らずに生活できる権利の3つだと私たちの班では考えました。そして、子どもは生まれたときからこれらの権利を持っていて、守られるべきだと学びました。

安心・安全に毎日を過ごす権利がないとどうなるのでしょうか。この権利がないと、家庭内での虐待や交通事故などで命を落としてしまうかもしれません。

自分らしく生きる権利がないとどうなるのでしょうか。この権利がないと、自分を尊重できず、他人に合わせてばかりの自由のない人生になってしまうかもしれません。

お金の困らずに生活できる権利がないとどうなるのでしょうか。この権利がないと、欲しいものが買えなかったり、やりたい習い事を諦める必要が出てくるなどして、行動が制限されてしまうかもしれません。

そして、これらの権利を得るには整った環境も必要になります。それは、例えば安心して外で過ごせる環境、大人に頼りやすい環境、子ども自らが自由に発言し大人と意見交換ができる環境、十分に家族との時間が持てる環境、個性を堂々と発揮できる環境、お金に困らず家庭によっての格差が少ない環境などです。このような環境は子どもの力だけではつくれません。

◎中学生モニター（1班）

だからこそ、私たち子どもの権利を尊重して大人の皆さんにこれらの環境をつくってもらいたい、そしてその環境を大人の力で守ってもらいたい。大人の方たちにはもう一度子ども目線で物事を考え直し、子どもの声にもしっかりと耳を傾けてほしい。これらの内容をまとめて「（仮称）北区子ども条例」の前文をつくったので、聞いてください。

私たち子どもは、自由を感じたときや努力が報われたとき、願いがかなったときなどに幸せを感じます。ただし、そうした幸せな環境を過ごすためには、安心・安全に毎日を過ごす権利や自分らしく生きる権利、お金のことなどで困らずに生活できる権利などが必要です。そして、子どもは生まれたときからこれらの権利を持っていて、守られるべきです。

安心・安全に毎日を過ごす権利がなければ、家庭内での虐待や交通事故などで命を落としてしまうかもしれません。

自分らしく生きる権利がなければ、自分を尊重できず、他人に合わせてばかりの自由のない人生になってしまうかもしれません。

お金に困らずに生活できる権利がなければ、欲しいものが買えなかったり、やりたい習い事を諦める必要が出てくるなどして、行動が制限されてしまうかもしれません。

安心して外で過ごせる環境、大人に頼りやすい環境、子ども自らが自由に発言し大人と意見交換ができる環境、十分に家族との時間が持てる環境、個性を堂々と発揮できる環境、お金に困らず家庭によっての格差が少ない環境、このような環境は子どもの力だけではつくれません。だからこそ、私たち子どもの権利を尊重して大人の皆さんに環境をつくってもらいたいのです。そして、守ってもらいたいのです。

このように、大人の方たちにはもう一度子ども目線で物事を考え直し、子どもの声にもしっかりと耳を傾けてほしいです。

私たちは、このことを区民の皆さんに伝えるため、この前文を作成しました。以上で、子ども条例に込めたいメッセージの発表を終わります。

◎中学生モニター（1班）

次に、北区教育ビジョンについてです。

まず初めに、このグラフを見てください。このグラフは、令和4年に実施した、学校が楽しいか楽しくないかのアンケートの結果です。この結果から分かれるとおり、心から学校が楽しいと思えている人は半分以下しかいません。

そこで、私たちはなぜ学校が楽しくないのかについて話し合いました。話し合いの中では、友達や先生との関係、学校の環境、授業がつまらないなどのたくさんの考えられる理由が出てきました。その中でも特に多く出た意見は、主にこの4つです。1つ目、荷物が多過ぎる、2つ目、落ち着ける場所がない、3つ目、他校とのつながり

が少なく区内での差が激しい、4つ目、校外の活動が評価されにくい。これらの4つについて詳しくまとめました。

初めに、荷物が重過ぎることについてです。

中学生の通学荷物の重さは平均10kgです。これはおよそ赤ちゃん3人分の重さです。そして、小学生、高校生と比べても一番重くなっています。荷物が重いと、学校に行くことに対し負担を感じてしまいます。

次に、中学生の落ち着ける場所が少ないことについてです。

学校外では、小学生までは児童館を利用することができますが、中学生は利用することができません。また、高校生はいろいろな交通手段を使うようになり、自由に使えるお金も増え、行動範囲が増えるため居場所も増えます。一方で、中学生は自由に使えるお金はあまりなく、中学生だけで遊べる場所は限られています。公園で遊ぶにしても、小学生や小さい子たちが遊んでいてボール遊びがなかなかできません。このように、中学生はルールのはざまにいて落ち着ける場所があまり多くありません。また、学校内でいっても、教室にはいろいろな人がいるため、いつも必ず落ち着ける場所はありません。落ち着ける場所がないと、何だか息苦しくなってしまうと普段の生活を楽しめません。

次に、他校とのつながりがなく、区内での差が激しいことについてです。

私たちの班の中だけで、通学バックの指定があるかないかや、普段からのジャージ登校がありか、なしかなど、多くの違いがありました。また、他校とのつながりがないと、他校にあって自分の学校にない取組などを取り入れることができません。

最後に、校外での活動が評価されにくいことについてです。

学校には、水泳や新体操など、設備などの理由によってつくることのできない部活動が幾つもあります。そのため、このような競技をしている人は校外のスポーツクラブに通うこととなります。ですが、普通の部活動と同じぐらい活動していても、部活動の記録は「部活に所属していなかった」というものになっています。ですが、それだと学校でその部活がつくれなかっただけなのに、不公平ではないかという意見が出ました。そして、私たちはそれぞれの問題を解決するための解決策を考えました。

◎中学生モニター（1班）

1つ目は、教科書のデジタル化をもっと増やすことです。教科書を減らすことで荷物が軽くなり負担を軽減できます。今現在デジタル教科書を取り入れている学校もありますが、それもあるのは英語と数学の2教科だけとなっています。なので、もっと教科書のデジタル化を進めるべきだと思いました。

2つ目は、中学生だけの居場所をつくることです。そこは中学生用のフリースペースのようなもので、雑誌や本、カードゲームなどが置いてあり、ジュースなどが中学生でも払えるような値段で売っていて、お菓子ならば持込みが可能などの仕組みがある場所です。そうすることで中学生でも日々の息抜きをすることができます。

3つ目は、学校同士の意見交換の場を定期的に関くこと、区内の学校の年間行事表の掲示をして自由に見られるようにすることです。また、今現在、他校の運動会に行くこと、自分の学校の運動会に他校の生徒を招待することは禁止されています。なので、運動会の行き来を許可してもらうこともあります。そうすることでお互いの学校

の違いが分かり、より学校をたくさんの人にとって居心地のいい場所にする事ができると思います。

また、他校からの新しいイベントや仕組を取り入れることによって、学校に対して「どちらかといえば楽しい」と思っている人たちの気持ちを、「心から楽しい」という気持ちに変えることにつながられるかもしれません。

4つ目は、個人や校外の活動なども部活動と同等の評価をすることです。例えば、例を挙げると成績表や通知表などに校外の所属クラブを記入するようにすることなどで、そうすることにより学校外での活動が分かるようになると思います。

まとめると、教科書のデジタル化をもっと増やす、中学生だけの場所をつくる、他校との意見交流の場所を増やす、校外の活動も部活動と同等の評価をするの4つの事柄を提案します。

これで北区教育ビジョンについての発表を終わります。

以上で中学生モニター会議、1班の発表を終わります。ありがとうございました。

◎区長室長

1班の皆さん、大変すばらしい発表、ありがとうございました。

ちょっと1班の皆さん、その場にまだ残っていただいて、今日、発言をまだしていない2班、3班から簡単に感想とか意見が聞けたらと思いますけれども、お願いしたいと思います。

まずは、2班のほうからいかがでしょうか。かしこまらないで大丈夫です。簡単な感想で。

◎中学生モニター（2班）

少しだけ考える時間を。

◎区長室長

はい、分かりました。

じゃあ、3班さん、どうでしょうかね。かしこまった意見じゃなくて、感想とか、質問みたいな形でも。

◎中学生モニター（3班）

中学生の荷物の重さを赤ちゃん3人分と言って、分かりやすい表現にしていたことがよかったと思います。

◎区長室長

ありがとうございます。

2班、いかがですか。

◎中学生モニター（2班）

中学生だけの居場所をつくるというところで、小学生だと児童館があって、高校生だと行動範囲が増えるということで、そう考えてみると中学生はそんなにお小遣いでもたくさんもらえないし、公園とかで遊ぶ機会が少なくなるので、中学生だけの居場所をつくるとそこでの友達もできると思うし、だからすごくいいアイデアだなと思いました。

◎区長室長

ありがとうございます。

それでは、今度、区の出席者のほうから。講評とか感想は後ほどいただきますので、この1班の発表に対しての質問とか、聞いてみたいことがあったらお願いしたいと思います。

◎やまだ区長

ありがとうございました。感動しました。

1つだけ教えてください。中学生のみの居場所づくりのところで、中学生が中心となって例えば小学生だったり高校生だったりも入れるような形でもいいのか、中学生だけがいいのか。それはどうだろうと思って。

◎中学生モニター（1班）

普通に中学生のやりたいように、中学生の児童館とかを補えるような場所であったら、そのルールの中で参加できる人が参加するみたいな形だったらいいかなと思いました。

◎やまだ区長

じゃあ、児童館なんかで中学生のスペースがあって、そこに中学生の皆さんの自主的なルールの中に小学生が混ざったりとかということは可能性も出てきたりするということ。スペース的にそういう場所がほしいのか。

◎区長室長

〇〇〇さん、どうぞ。

◎中学生モニター（1班）

普段、平日とか中学生が学校にいる時間は、区民の方たちがフリースペースとして使用していて、ただ、学校が終わった放課後とか土日とか休日は中学生が主となって使えるような場所を考えています。

◎やまだ区長

ありがとうございました。

◎区長室長

ほか、どなたか。

◎教育振興部長

ありがとうございました。

私も今の件をもう少し聞きたいなと思ったんですけど、皆さんの話し合いの中で中学生の方々は結構忙しいだろうなと思っていて、学習塾に行ったり、当然部活の話も今出ていましたけど、部活をやったりしてかなり時間は限られるのかなと思っているんですけど、そんな中でも落ち着ける場所というところで児童館みたいなところ、例えば今お話がありましたけど、あれば行ってみたいなとやっぱり感じますかね。その辺りはどうですか。

◎中学生モニター（1班）

小学生が児童館みたいなものとか公園とかで遊べるけど、中学生というのはなかなか外で遊ぶ機会も減ってきて、高校生はやっぱり行動範囲が大きく広がるじゃないですか。そうすると中学生ってすごい何かあやふやな存在感みたいな感じになってしまって、どうしても。なので、中学生主体のものがあれば中学生もそのあやふやな状態から抜け出せるのではないかなと思って考えました。

◎教育振興部長

ありがとうございます。発想として、じゃあやっぱり中学生が、ちょっとさっきも「はざま」という言葉がありましたけど、そういうようなところから今みたいな話が出てきたということで理解していいですかね。ありがとうございました。

◎区長室長

ほか、いかがでしょうか。よろしいですか。

まとめたの講評はまた後ほどいただきますけれども、じゃあひとまず1班さんの発表についての質疑はこれまでとさせていただきます。

発表前にちょっと遅れてしまって先程合流した〇〇〇さん、このモニター会議に参加しての感想みたいなものを一言おっしゃっていただければと思います。

◎中学生モニター（1班）

5回だけで集まる時間はすごく少なかったんですけど、モニター会議が終わった後とかにも個人で連絡し合って家でやったりとか、あと、また別の場所で集まってやったりというのができて、ほかの学校と色々な意見交換ができて、自分の学校にはないこととかがいろいろ知れたので、これから学校生活をしていく中でそれを取り入れていきたいなと思いました。

◎区長室長

ありがとうございます。

それでは、以上をもちまして1班の皆さんの発表を終わりにします。改めて大きな拍手をお願いします。

（拍手）

◎区長室長

それでは、続きまして、2班の皆さん、発表の準備をお願いします。

◎中学生モニター（2班）

稲付中学校2年の〇〇〇です。

短い間でしたが、ほかの中学校の人たちと関わって、そこで自分の学校にはないことも知れたりしました。このモニター会議で得たことを自分の今後の学校で生かしていきたいかなと思っています。ありがとうございました。

◎中学生モニター（2班）

滝野川紅葉中学校の2年、〇〇〇です。

このようにほかの学校の方たちと関わられるような機会がとても少なく、ほとんどなかったのですが、初めていろんな人と関わって、友達もできたので新しい意見とかをたくさん聞けて、また自分も考え方が広がったなと感じられるようになりました。このような機会がただで本本当にうれしいと思いました。ありがとうございました。

◎中学生モニター（2班）

赤羽岩淵中学校から来ました〇〇〇です。

僕は、ほかの中学校の人との活動、最初はちょっと不安だったんですけど、参加してみてもみんなと楽しく活動することができたのでうれしいと思います。ありがとうございました。

◎中学生モニター（2班）

堀船中学校から来ました〇〇〇です。

まだ始める前は、夏休みはもっと寝たいなとか思ったり、どうなんだろうなとか思ったり、ちょっと心配したこととかもあったんですけど、来てみるともうみんなフレンドリーですごく楽しくできて。さっき〇〇〇さんが言ったみたいな新しい友達もできて、本当にこのような機会をいただけてありがとうございます。

◎中学生モニター（２班）

これから２班の発表を始めます。よろしくお願いします。

まず初めに、「（仮称）北区子ども条例」に込めたいメッセージの発表を行います。

私たち子どもは、寝るときやおいしいものを食べているとき、誰かに褒められたときなどがとても幸せです。ただし、そうした幸せな時間を過ごすためには、プライバシーが尊重される権利、遊ぶ権利、お金のことで困らず生活できる権利といったものが守られる必要があります。

◎中学生モニター（２班）

なぜなら、プライバシーが尊重される権利は自分の身を守るために必要で、その権利はストレスをためないように必要、お金のことで困らずに生活できる権利は、生きるための全ての行動はお金がないとできないから必要といった理由だからです。

◎中学生モニター（２班）

そして、こうした権利が守られるために、北区や区民の皆さんには子どもを大切に、適度に褒めて、子どものことを限度をわきまえて見るようにして生活する、そしてどうか自分たちが子どもだった頃を思い出して行動してほしいと私たちは心の底から願っています。

まとめに入ります。子どもにも権利はある、子どもに必要な権利を守ってほしい、子どものことを思ってほしい、私たちはそのことを皆さんに伝えるため、「（仮称）北区子ども条例」の前文を作成しました。

◎中学生モニター（２班）

今から前文を読むのでしっかりと聞いておいてください。

私たち子どもは、寝るときやおいしいものを食べているとき、誰かに褒められたときなどがとても幸せです。ただし、こうした幸せな時間を過ごすには、プライバシーが尊重される権利、遊ぶ権利、お金のことで困らずに生活できる権利といったものが守られる必要があります。

◎中学生モニター（２班）

なぜなら、プライバシーが尊重される権利は自分の身を守るために必要で、遊ぶ権利はストレスをためないように必要、お金のことで困らずに生活できる権利は、生きるための全ての行動はお金がないとできないから必要といった理由からです。

◎中学生モニター（２班）

そして、こうした権利が守られるために、北区や区民の皆さんには、子どもを大切に、適度に褒めて、子どものことを限度をわきまえて見るようにして生活する、そしてどうか自分たちが子どもだった頃を思い出して、行動してほしいと思います。私たちは、このことを皆さんに伝えるためこの前文を作成しました。

◎中学生モニター（２班）

これで、2班の「(仮称)北区子ども条例」に込めたいメッセージの発表を終わります。

◎中学生モニター(2班)

これから、誰もが楽しく学校に通うための取組についての2班の考えを発表します。よろしくお願いします。

私たちはまず、なぜ学校に行きたくないのかを考えてみました。例えば、クラスメイトが嫌い、先生が苦手、勉強が分からないなどの理由が挙げられました。

◎中学生モニター(2班)

解決策としては、クラスメイトが苦手な場合は、様々な人と関わる、ポジティブに考えるといったことで毎日が楽しく思える、ストレスが減る、スキル・キャリアのステップアップなどができると考えられます。

◎中学生モニター(2班)

その次に、先生が苦手ならばまず自分から行動しに行く、その先生が苦手であってもその先生にはいい一面があったりするかもしれないからです。例えば話しかけに行く、苦手な先生との接点を少しでも増やし信頼できる先生を探す、信頼できる先生を探すということは、何かあったときにその人に相談することにもつながります。

◎中学生モニター(2班)

勉強が苦手な解決策は、1、めげずにやってみよう。目標を立てて勉強することによってゴールをつくることができ、勉強を効率よく進めることができます。時間がないを言い訳にしない。自分から時間をつくることによって勉強に集中することができます。環境づくり、部屋が汚かったり周りがちらかっていると集中力が下がり、勉強を進めることができません。なので、部屋をきれいにし環境をつくることによって集中力を上げ、勉強に取り組むことができます。2、先生に個人的に教えてもらう。これは先生を克服するチャンスと同時に、勉強がもっと分かるようになります。分かりやすく解説してもらうことで、教科の内容をより深めることができます。

◎中学生モニター(2班)

これで、2班の誰もが学校に楽しく通うための考えの発表を終わります。ありがとうございました。

◎区長室長

2班の皆さん、ありがとうございました。

それでは、先ほどと同じように、発表していない班のほうから感想ですとか質問があったらお願いしたいと思います。

じゃあ、1班のほうから今度はお願いします。

◎中学生モニター(1班)

感想なんですけど、私たちの班ではこの環境を整えてもらうとか大人にやってもらうような解決策ばかり考えていたんですけど、2班はその学校が嫌な理由を克服するための自分たち、生徒ができる手段というのを考えられていて視点が違って、また聞いていてすごく面白かったです。ありがとうございました。

◎区長室長

ありがとうございます。

じゃあ、3班のどなたかお願いします。

◎中学生モニター（3班）

1班の感想と同じで、勉強が苦手とか先生に個人的に教えてもらおうという僕にとっては当たり前のことを深く言っていてよかったと思います。

◎区長室長

ありがとうございます。

もう1人、はいどうぞ。

◎中学生モニター（3班）

発表の時に使ったスライドに、矢印とかプラス記号とかがついていて、分かりやすいなと思いました。

◎区長室長

ありがとうございます。

それでは、区の出席者の方、どなたかいらっしゃいますかね。

はい、じゃあお願いします。

◎やまだ区長

ありがとうございました。とても分かりやすかったです。先ほどの感想でも出ていたとおり、自分たちで何ができるかなという姿勢は本当に素晴らしいなというふうに感じました。

その中1つ教えていただきたいのがやっぱり先生に関するところで、先生に個人的に教えてもらう、苦手な先生と接点を少しでも増やす、信頼できる先生を探すなどがありました。先生との時間はやっぱり少ないなというふうに皆さんが感じられているということなのかな。その辺の先生との関係の中でこういうふうになったらいいなというような、今、皆さんが努力してくださる内容とは別に、学校のほうとしてこういう環境を整えてもらえらるともっと今書かれているような解決策が進めやすいんだよというようなご意見があれば、先生との関係性の中で教えていただけたらなと思いますが、いかがでしょうか。

◎中学生モニター（2班）

小学校だと話は別になるんですけど、中学校だとやっぱり自分たちは自己紹介とかを4月初めとかにやるんですけど、その自己紹介してくれる先生は結局自分たちのクラスの担任の先生だけなんです。だから、副教科の先生とかほかのクラスの先生とかは初めはあまり接点がないのでちょっと苦手だなと思うときもあったりして、だからやっぱりどんな形でもいいのでほかの先生ともたくさん関わって、ああ、この人はこういうことが好きなんだなとかと思って信頼できる関係を築いていけたらなと個人的に思っています。

◎やまだ区長

ありがとうございます。

◎区長室長

ありがとうございます。

他はいかがでしょうか。はい。

◎教育振興部長

今の件にもちょっと関わってくるんですけど、中学校は教科担任制を引いているので、担任の先生のほかに学習については教科担任にそれぞれ教えてもらっているから、そういう意味では担任の先生との関わりも小学校よりは深くなくなっちゃうのかなというところで今みたいな感想が出るのかなと思います。その辺りは、この授業運営とか学級運営の辺りで、今の意見なんかは学校にもきちんと伝えて、担任の先生との関わりもしっかり持てるようにしたいなと思います。

私から1つ聞きたいのは、今のその勉強の件で、令和3年から皆さん、1人1台学習用電子端末、きたコンをお配りしていただいて、その中でも中学生は特にスタディサプリを使えるようにさせていただいて、反復学習もできるようにさせていただいているという中では、分からないところとか、自分でも勉強できるような環境を我々は整えてきたつもりなんですけど、そのようなものというのは皆さんはどのぐらい活用しているのかなというか。逆に言うと活用しにくいものなのかどうか、その辺りの感想があったらお願いします。

◎中学生モニター（2班）

私の学校ではスタディサプリはほとんど使わずに学習していて、その代わりにロイロノートなどを使って授業をすることが多いです。

◎教育振興部長

ありがとうございます。

どうですか、スタディサプリを使っているところって、ほかの班の方でもいいですけど、どのぐらい。うちの学校は結構使っているよというところはありますか。

◎区長室長

割と使っているという学校の方、もしあれば挙手してもらえると。学校名は何中学校。

◎中学生モニター（2班）

飛鳥中学校。

◎区長室長

飛鳥、赤羽岩淵中学校。

◎教育振興部長

なるほど。ありがとうございます。

スタディサプリ、実際の学習塾だったりと同じように講師の人が画面に出てきて、分からないところなんかも画像を見たりしながら、勉強を繰り返しできるようなソフトなので、そういうものを使ってもらえればと思うんですけど、なかなか実際には使っていないなというのは我々も認識しているところなので、その辺りを今後どうしていくか考えなくちゃいけないかなと思います。ありがとうございました。

◎区長室長

他、いかがでしょうか。よろしいですか、ひとまず。

それでは、2班の皆さん、改めまして発表お疲れさまでした。ありがとうございました。

それでは、続きまして、3班の皆さん、お願いします。

◎中学生モニター（3班）

桐ヶ丘中学校から来ました。2年の〇〇〇です。

今回、普段の生活ではあまり考えないけど、他校の人たちと考えられて貴重な体験ができました。ありがとうございました。

◎中学生モニター（3班）

十条富士見中学校の〇〇〇です。

意見を交換するということが私は個人であんまり得意じゃなかったんですけど、この場でいろいろな人と意見を交換することができたので、克服できたのでとてもよかったですと思いました。ありがとうございます。

◎中学生モニター（3班）

都立白鷗中学校の〇〇〇です。

いつもは学校の人としか関わらないんですけど、今回は違う学校の人と意見交換ができてとてもよかったです。

もう1つ、私の通っている学校は区外のことであって、北区に貢献するみたいなことが今までできていなかったんですけど、このような機会をいただけたことでちょっとでも北区に貢献できたなと思ううれしい気持ちになります。ありがとうございました。

◎中学生モニター（3班）

堀船中学校の〇〇〇です。

今回の中学生モニターを通して、積極的に意見を出すことの大切さを学びました。積極的に意見を出すことで、班としてもよりよい意見が生まれるからです。私は学校の生徒会活動や授業であまり積極的に意見を出すことは今までなかったけれど、今回その大切さを学んだので積極的にやっていきたいなと思いました。

◎中学生モニター（3班）

浮間中学校から来ました、2年、〇〇〇です。

このモニター会議を通して、他校の学校との意見の共有や、北区の教育とかをちょっとでも変えられていくという貴重な体験ができてとてもよかったです。ありがとうございました。

◎中学生モニター（3班）

これから3班の発表を始めます。よろしくお願いします。

まず、1日目、2日目で取り組んだ、「（仮称）北区子ども条例」に込めたいメッセージについて発表します。

初めに、私たちが1番幸せに感じるタイミングについてです。私たちが1番幸せに感じる時は、できなかったことができるようになったとき、自分の好きなことに打ち込めるときという意見が多く挙げられました。

次に、私たちが必要だと思う権利についてです。それは失敗してもやり直せる権利、遊ぶ権利、自分らしく生きる権利の3つです。

◎中学生モニター（3班）

次に、子どもたちの権利を守るために大人にしてほしいことについてです。それは、やりたいことを気軽にできる環境をつくるということです。これらのことを踏まえて、私たちが考えた「（仮称）北区子ども条例」の前文を発表いたします。

私たち子どもは、できなかったことができるようになったときに幸せを感じます。そのほかにも、子どもたちがやりたいことを好きなだけできると楽しいという理由から、失敗してもやり直せる権利、遊ぶ権利、自分らしく生きる権利が保証されると、より毎日を不安なく笑顔で生きることができます。ただし、全ての子どもがこうした幸せな毎日を過ごしているわけではありません。また、こうした幸せは私たちの思いだけでは実現しません。そこで、大人の皆さんに、やりたいことを広々と好きにできる環境をつくることをお願いします。私たちは、このことを区民の皆さんに伝えるためにこの前文をつくりました。

「(仮称)北区子ども条例」に込めたいメッセージを文章にするとこのようになりました。これで、「(仮称)北区子ども条例」に込めたいメッセージについての発表を終わります。

◎中学生モニター（3班）

次に、テーマを変えて3日目・4日目で取り組んだ「誰もが学校で楽しく学び、生活を送るためにはどんな取組があればよいか」、班で話し合ったことについて発表していきます。

学校で楽しく生活するためには、まず、学校が楽しいと感じない理由についてです。学校が楽しいと感じないのは、授業に集中できないから、友達や先生との関係に不満があるから、部活動が厳しいから、スクールカウンセラーさんに話しづらいから、校則が厳しいから、学校の設備が充実していないからという意見が出ました。

◎中学生モニター（3班）

次に、いろいろな区での取組例を挙げていきます。

まず、千代田区では定期考査の廃止、台東区では休日の部活動の廃止、練馬区では年齢別に参加事業や相談事業を用意することが、いろいろな区での取組例として挙げられます。

北区への提案は、まず、授業に関して実際に体験して学ぶ授業を増やす、学校に適した場所を用意する、例えば自習室やマラソン場所などを用意してほしいです。次に、テストを減らす。次に、学校に適した環境にするため、生徒に希望を聞きクラスを分けることです。

◎中学生モニター（3班）

次に、校則や部活、カウンセラーについてです。

1つ目は、土曜日・日曜日の部活動を自由参加にすること。2つ目は、先生とスクールカウンセラーの間で情報交換をしないこと。3つ目は、校則について考え直す時間を生徒会などでも設けるよう推奨してもらうことです。4つ目は、学校設備の故障の把握・整備を行うことです。

最後に、その他についてです。

1つ目は、不登校の生徒に対して手厚く支援をすること。2つ目は、近くの学校や自分の行きたい学校に行けるようにしてもらうことです。

これで3班の発表を終わります。ありがとうございました。

◎区長室長

3班の皆さん、ありがとうございました。

それでは、同じように、また1班のほうから意見、質疑等がありましたらお願いしたいと思います。

◎中学生モニター（1班）

先生とスクールカウンセラーの情報交換をしないというのは、スクールカウンセラーさんに相談したらもう担任の先生から相談されたり、別に担任のほうに相談したらスクールカウンセラーさんがなぜか教室にいたということがあったので、そこら辺はすごくいい案だなというのは思いました。

◎区長室長

1班、よろしいですかね。

じゃあ、なければ2班さんのほう。

◎中学生モニター（2班）

北区以外の他の区を取組を調べて、それでそれを紹介しているのがいいと思いました。

◎区長室長

ありがとうございます。

それでは、区のほうから質問等がありましたらお願いします。

◎やまだ区長

ありがとうございました。

なかなか具体的なご指摘が多くて驚きました。指摘の内容が、個人的には意外なことが多くて、すごく目から鱗というか、やっぱり子ども目線で見られていなかったなということの反省を個人的にも感じました。ありがとうございました。

1点、困ったときに学校でスクールカウンセラーさんと先生が意見交換とか、情報共有をしてみんな筒抜けになっちゃうのは嫌だよというのが、ごめんね、意外だったのね。みんなで力を合わせて解決しようと、我々なんか思っちゃうことだったんだけど、むしろどんな環境のほうが相談しやすいのかなというのをちょっと教えていただけたらなと思って。そのスクールカウンセラーさんに限らずでいいんです。どんなことでもいいので、こんな環境だと相談しやすいよという何かアイデアがあったら教えてください。

◎中学生モニター（3班）

例えば、スクールカウンセラーさんと困っている人の一対一で話し合える環境があったらいいと思います。

◎やまだ区長

他は大丈夫ですか。

◎中学生モニター（3班）

そのスクールカウンセラーさんだけに話したことが、他の先生方も知っちゃっているということで、秘密を口外されたくないという気持ちが大きくあるので、そこはぜひお願いしたいと思います。

◎中学生モニター（3班）

勇気を振り絞って、今まで自分でためこんだことを学校の人に話したというのに、そのスクールカウンセラーさんだけで知っていればいいのに、担任の先生にまで知ら

れると今までの勇気が無駄だったのかなみたいな気持ちになっちゃうので、やっぱりそこは情報共有しないでもらうとうれしいかなと思います。

◎やまだ区長

ありがとうございます。大変勉強になりました。

◎区長室長

他、いかがでしょうか。

◎教育振興部長

ありがとうございます。

私も今の件にすごく関心があって、区長と同じような感想を持ったところです。やっぱり子どもたちの視線は違うんだなというふうに思って、非常に目から鱗だったんですけど。皆さんが今スクールカウンセラーさんたちに相談している内容というのは、内容というのかな、困っているところというのは、どっちかという聞いてもらいたいという発想なんですかね、そうすると、解決につなげてほしいとかというよりも、まずは聞いてもらいたいということが中心になると、それ以上他の先生たちと相談しないでよねという、そんな思いなのかなというふうに私は受け止めたんですけど、その辺りはどうですか。

◎中学生モニター（3班）

聞いてもらうだけでも心の中のもやもやというのがスカッとなるので、もちろん解決してもらったほうがなくなるんですけど、聞いてもらうだけでも大分晴れるので。

◎中学生モニター（3班）

人に話すことで自分の悩んでいたことが頭の中で整理されたりして、自分でこうすればいいんじゃないかと考えたりもできるので、聞いてくれるといいと思います。

◎教育振興部長

ありがとうございます。そういう相談に乗ってくれる人が学校の中に入れてほしいというふうに受け止めていいですかね。はい、ありがとうございます。

◎やまだ区長

ごめんね、今の関連でもう1個だけ。そのスクールカウンセラーさんとは直接じゃないですか。これが例えばLINEとかメールとか、そういったことより直接のほうがいいのか、そういう形式はどうかな。

◎中学生モニター（3班）

返信が遅いとかじゃなくて、対面じゃないと顔も分からない。

◎やまだ区長

なるほどね。

◎区長室長

今のご意見をもう一度。

◎中学生モニター（3班）

LINEとかだと顔も見えないから、コンピューターとかAIでやっているのかなというふうに想像しちゃう感じもあるので、本当に人と話し合ったほうが解決とか発散とか整理にもつながると思います。

◎区長室長

はい、どうぞ。

◎中学生モニター（1班）

彼が言っていたとおりでなんですけど、本当に表情が見えないと誰が言っているかも分からないので、スマホというのは便利になったけれど、相手の顔色が見えないというのはやっぱり相談している側としては不安になってしまうというのが一番大きいから、LINEはちょっとと思いました。

◎やまだ区長

ありがとうございました。いや、もう本当にすごい反省も含めて、いろいろ勉強しました。また、不登校の子なんかと学校に来られている方とちょっと違いも出てくるのかもしれないし、そういったこともまた意見を思いついたら教えていただきたいなと思いました。ありがとうございます。

◎子ども未来部長

ありがとうございました。条例の件で質問したいんですけども。3つ、大切な権利ということで挙げていただいているんだけど、失敗してもやり直せる権利を挙げてもらっていて、これが大事だというふうにみんなで議論した理由をもう少し教えてもらっても大丈夫ですか。お願いします。

◎中学生モニター（3班）

失敗してもやり直せることで気軽にやれるから、失敗してももう1回できるから大丈夫だと心の中で思っていれば、やっぱりいろいろと挑戦ができるかなと思ったからです。

◎中学生モニター（3班）

失敗してももう1回やることで、もっと最初よりもよい方向に向くと思うからです。

◎子ども未来部長

ありがとうございます。これでもし失敗しちゃったら、やってみようかなと思う気持ちがちっと抑えられちゃうみたいなのが、やっぱりたまにあったりするという感じですね。はい、分かりました。ありがとうございます。

◎子ども未来課長

子ども未来課長です。立って話すのが好きなので、ごめんなさい。

条例のことで、3つの班、どうもありがとう。とてもすてきな前文をつくってくれたと思っています、それぞれが。ただ、条例にしたときに、恐らくその1、その2、その3とかができないんだよね、きつと。ワン・ツー・スリーとかとつくるわけにもいかないので、やっぱり1つにしなきゃいけないんです。

この後、2学期になると恐らく今度は広く浅く条例についてのアンケートを取ります、きつと。そういった中でいろんな意見が上がってきて、それを僕らで整理しようと思っているんだけど、手伝いを頼むというのはありかな。秋頃、みんなにまた声をかけて。

そういうようなのをちょっと考えたいと思います。ありがとう。前向きに捉えます。

◎教育政策課長

じゃあ、すみません、僕も1個だけ、ちょっと聞きたいことがあって、さっきの教育の学校の関係のところで、提案の中で1つテストを減らすというのがちょっとあっ

て、いろいろ発表を聞いている中で、多分ただ単純に減らすということだけではなく、いろいろ議論があったのかなと思うんですけど、そこの辺りをちょっと聞かせてもらいたいと思います。

◎中学生モニター（3班）

千代田区の実例として定期考査の廃止というのがあったんですけど、それと似ていて、2週間前とか前から勉強を始めないといけないし、あと、1週間前になると部活動もできなくなってしまって、それでも大会とかが近くにあったら大会優先になって、あまり勉強できる時間がなくなってしまって不平等になってしまうから減らして、その不平等感をなくしていいと思いました。

◎中学生モニター（3班）

これは私の個人的な意見なんですけど、私が定期考査をやっている、ずっと暗記ばかりで単語の羅列をそのまま語呂合わせとかで覚えて、テストが終わったらすぐ忘れちゃってみたいなのを私は続けていたんですけど、それによって睡眠時間とかも削られてつらい思いをしたときがあって、それをやって意味があるのかなとすごく感じていて、今も頭の中で疑問が浮かんでいて。だからそのテストが悪いだけじゃないと思うし、これから大人になるために必要な知識を養っていることは分かるんですけど、そのテストのやり方を変えたいなというのはずっと思っていたから、個人的な意見なんですけどそう思いました。

◎中学生モニター（3班）

自分もちょっと理由が気になって軽く調べたんですけど、自立と社会性を養うためと書いてあって、ああ、でも確かになと思いましたね。

◎中学生モニター（1班）

そのテストを減らすというのは、副教科をもっと減らしていいのかなというのを思いました。主要教科は多分将来的に必要なものかなと思うんですけど、どうしても副教科に必要性をちょっと個人的に感じなくて、副教科のテストを減らせないかなというのちょっと思いました。

◎中学生モニター（1班）

今はそのテストが結構成績に直結していたり、考えるもとなになっていると思うから、テストを減らすとか定期考査をなくすとしたら、私の学校は2学期でテストが毎年4回あるんですけど、その4回に全てをかけるんじゃなくて、例えば教科で小テストとかにもっと細かく分けたら、体調を崩しちゃったとか、怪我をしていて学校に行けなかったとか、そういうハプニングがあってもその次で挽回して、その失敗がすごく大きな影響にならないという面があるから、分けて細かくするのも手段としてありんじゃないかと思いました。

◎中学生モニター（2班）

さっきの1班の方とちょっと意見が似ているんですけど、やっぱり将来に必要な教科、その中でも部分によるんですけど、例えば副教科だったら家庭科とかは必要で、国語とかは必要なんだけど。簡単に言えば、テスト範囲はざっくりしているじゃないですか。だから、それを全部勉強するために睡眠時間を削るんですよ、自分は。だから、もうちょっとはっきりさせておいたり、ここは必要だなと思ったところとかをテ

ストに出してくれれば、もうちょっと自分たちの負担を減らせるんじゃないかなと思っています。

◎中学生モニター（3班）

僕の学校だけだと思うんですけど、音楽が教科書とかをテスト中に見てもオーケーになっていて、それでもあんまり勉強する意味もなくて何かかなと思って、それだったらテストがないほうがいいんじゃないかと普通に思います。

◎中学生モニター（1班）

このさっきのスライドの中で失敗してもやり直せる権利というのがあったと思うんですけど、定期テスト、2学期だったら4回、その4回の中で失敗してもやり直せるというのは少ないと思うので、少しずつ単元テストみたいなのをやって、失敗しても次で挽回すればいいかなみたいな感じが、そういうちょっとずつテストがあるほうがいいと思います。

◎区長室長

ありがとうございます。

◎教育振興部長

今、テストの件、本当に皆さんからいっぱい意見をもらってありがたかったなと思っているんですけど。今日参加している方はほとんど2年生ですかね。実はさっきもちょっと話があったように、北区は2学期制を引いています。テストは多分年4回なんですかね、だから。他の区は3学期制を引いているところが多くて、さっき出ていた千代田区は2学期制なんですけど、本当にテストを廃止して小テストを積み重ねて成績につけるというようなやり方をされているというふうに聞いています。ですので、北区もそういうやり方も含めて考えるということは当然必要になってくるのかなと思っているんですけど。

一方で、大人の感覚というんですかね、皆様方のお父さん、お母さんの世代は3学期制だったんですよ。そういう方からは3学期制に戻したほうがいいという意見が非常にあって、そうするとテストの回数は当然に増えていくわけなんですね。あとは、さっき出ていたように高校入試への査定というのかな、内申ですよ。ですので、その辺りの成績をつけるに当たっても、2学期制だと非常に不便だということですかね、皆さんのほうも困るのかなというところが大人の感覚では出されているというところの中で、2年生なんかそういうふうに意見を持ってもらっているということは非常に我々としてはありがたい意見なので、そういうのをぜひ学校内でももっと話してもらって子どもの声として上げてもらえると我々うれしいなと思います。ありがとうございました。

◎区長室長

テスト、食いつきが大分いいお話になって盛り上がっちゃいましたけど。改めまして、3班の発表はこれで全部おしまいということになります。ありがとうございました。

6 . 講 評

◎区長室長

改めまして、皆さん、すばらしい発表をありがとうございました。各班で切り口とか視点なんかも全然違ったりして、それがまたすごくこっちに座っている人たちもドキドキするように聞いていたと思いますけれども、そういうヒントがあったりして、それがまたこれから何かいろんな改善につながるのかなと、皆さんの意見を聞くポジションの役所の人としてはそう思いました。

それでは、これから改めて区の出席者のほうから一言ずつ講評、感想、コメントをいただければと思います。

では、最初、やまだ区長からお願いします。

◎やまだ区長

皆さん、今日は本当にありがとうございました。5回のワークショップ、意見交換の中で、たった5回でこれだけの内容をまとめられて正直驚きました。そして、尊敬の念を大きく抱いています、心から。

それとともに、やっぱりみんなの意見を聞くって本当に大切だなと思っています。私たち大人は子どもの頃をもしかしたら本当に忘れているかもしれない。あのときに思ったら同じことをみんなが言っているかもしれないけど、今はもう思い出せない。そういった感覚をやっぱりもう一度、私たち大人がみんなと同じ目線に立って制度をつくっていく、環境をつくっていくということをやりたいなと純粋に改めて思いました。

そこで、皆さんにお願いが私からあります。

1つは諦めないでほしい。いろんな大人に対して、社会に対して、環境に対して、どこかに諦めているという気持ちがみんなの中にあるかもしれない、もしくはお友達の中にあるかもしれない。お友達の中にあっても、諦めないでという声をぜひかけていただきたい。そのために、今日、教育委員会、教育委員の先生を含めて、みんな幹部がそろっています、必ずみんなを守ります。みんなの生活と命と環境をつくることを守る、そのことを私はお約束したいと思います。そのための努力を大人がこれからしていく、ですからみんなも諦めないでほしい。これからの未来、これから日本を支えるのは皆さんです。ですから、ぜひこれからの未来を大きく描いていただいて、必ずできる、叶う、そのために私たちも全力で応援します。これは絶対約束します。でも、できないときにはみんなでも意見交換をして、どうすればできるかを一緒に考えさせていただきたいと思います。だから、今日参加していただいた方々にはそのことをお伝えできるけど、参加していない多くのお友達にもそのことをお伝えいただいて、みんな諦めずに頑張ろう、楽しく過ごそう、そんなことを広めていただきたい、そのことを私からお願いさせていただきたいと思います。

本当に多くのことを学ばせていただきました。ありがとうございました。

◎区長室長

続きまして、教育長、お願いします。

◎教育長

皆さん、それぞれ貴重な時間を割いて参加していただき、そして今日、素晴らしい報告をまとめていただき本当にありがとうございました。

これから条例や、それからビジョンの中で、今日いただいた意見の考え方、できる限り、可能な限り盛り込み、また、今後の教育行政や子育て支援の中で最大限生かしていきたいと思っています。

皆さんの今日の感想の中で、とても楽しかったと言っていただけて本当にありがとうございます。また、将来につなげていきたいとか、この先の生活の改善につなげていきたいという未来に向かった感想もいただいています。1年後に振り返って、また5年後、10年後、30年後に振り返ってもこの経験が楽しかったと思っていただけたら、僕たち全員、最高に幸せだと思います。今日は本当にありがとうございました。

◎区長室長

政策経営部長、お願いします。

◎政策経営部長

今日は皆さんの貴重な意見を聞かせていただきまして、本当にありがとうございました。5回にわたるモニター会議だということですがけれども、中にはそれ以外の場でも意見交換しながら今日につなげたという話もあって、本当にいろいろと皆さんなりに努力した成果が今日聞けたのかなというふうに思っています。

多かったのは楽しくやれたという意見が非常に多くて、やっぱりこういう他校、普段関わりのない皆さんたち同士が意見を出し合うということの楽しさ、大事さというのも実感できたのかなというふうに聞いていて思いました。こういう場を経験することで、それ以外の場でも、日頃はなかなか自分の意見を言わない性格だったとしても、こういったものを機に意見を出すことがあまりストレスなく出せるようになるのかな、そういった部分でも貴重な経験だったのかなというふうに思います。

話を聞いていて思ったのは、皆さん方が将来に向かって何の不安もなく過ごせるようになる、その環境をつくるのはやっぱり大人の役割だというふうに思っています。一方で、皆さんなりに多分自分たちが努力して克服していかなければいけないこと、それも今日提案にありましたけれども、皆さんたちなりに努力して、これも意見も出ましたけれども、失敗してもやり直せる機会、そういったものも十分活用しながら、大人は皆さん方が健やかに成長できる環境をつくる、皆さん方は皆さん方なりに今の環境を少しでもよくするための努力をする、その2つの力が合わさって、いい北区の生活環境が出来上がっていくのかなというふうに思っていますので、これからは私たちもいろいろな意見を大切にしながら、いろんな政策を考えていきたいと思ったり、皆さん方も自分たちの生活が少しでもよくなるためにはどうしたらいいのか、そういったことの意味を出していただけて、その2つの力を合わせて、これからは北区の将来をつくっていったらというふうに思っていますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。

◎区長室長

教育振興部長、お願いします。

◎教育振興部長

皆さん、本当にありがとうございました。

私はいろいろ質問をさせてもらったので、皆さんからも答えてもらって本当に勉強させていただきました。また、今日、区立の中学校以外の皆さんも参加していただいて、本当にこういう機会が広がっていくのはいいことかなと思っています。

教育委員会の教育振興部長という立場で今年5年目になりますけど、毎年この中学生モニターの会議に出させていただいて必ず出てくるのが、他の学校の生徒とこういう場で話し合いを持って非常に良かった、改めて勉強になりましたということとか、他の人の考えを聞いて自分の考えが改めて深まりましたというような話、今日も出ていましたけど、そういうふうに皆さんに思っていただけが一番いいのかなというふうに思っています。

教育振興部のほうは、今日も議論していただいた教育振興ビジョンというものを今年検討しております。今日も具体的な話がいろいろ出ていました。1班のほうで荷物が重いということ、これは多分端末も含めて、きたコンもかなり重いので、きたコンも皆さんが卒業した後になっちゃうかもしれないんですけどもう少し軽いものになるかなと思っていますけど、デジタル教科書の話もあります、デジタル教科書もちょっと国が検討している段階なんで、これからどんどん導入されていくのかなと思いますけど。

それから、部活動の話も出ていましたね。部活動、特に土日の活動なんかは減ったほうがいいんじゃないかと、これも国のほうが今自治体で検討するよということ、地域の活動に広げていって学校での部活動を減らしていく、逆に、また今日も出ていましたけど、地域の活動なんかをやっぱり学校でも評価してもらって、そういうところで連携してやっていくということも大事なのかなというふうに思っていますので、北区もこの辺りは来年、再来年と検討をしっかりとやっていかなきゃいけないというところに来ています。

それから、2班、3班とか、不登校の問題も出ていました。不登校は非常に重要な問題、さっきスクールカウンセラーの話もありましたけど、やはりスクールカウンセラーさんへの相談は難しいんだなというのを改めて感じたところですし、逆にそうじゃなくて校外の居場所の話も、児童館等が出ていましたけど、そういう皆さんの居場所も確保していかなきゃいけないというのも我々も今まさに検討しているところです。

ですので、今日出していただいた意見については教育委員会もしっかり検討させていただいて、ビジョンの中で反映させられること、また、子ども未来部のほうで検討している子ども・子育て総合支援計画、それから子ども条例の中で書けることは書いていくということでもしっかり対応していきたいなと思います。これからは子どもたちの、皆さんの意見を我々しっかり受け止めさせていただいて、区政を進めていきたいと思っています。ありがとうございました。

◎区長室長

子ども未来部長、お願いします。

◎子ども未来部長

皆さん、本当にありがとうございます。多分、私、2日目も感動しましたと言った

と思うんですけども、今日も一層感動が高まっておりまして、ありがとうございます。

私は条例に関してのコメントをさせてもらいたいなと思っているんですけど、多分みなさん自分たちの持っている権利については改めて深く考える機会が、なかなかなかったというコメントがさっきありましたけど、そのとおりだと思うんですね。そんな中で本当に真剣に自分たちの持つ権利のことを考えてくれたことに感謝をしています。もしかしたら、自分の持つ権利のことを考えるときに、何かいろんなことを振り返って、ちょっとつらい思い出とかも頭に浮かんでしまった人もいたかもしれないんですけども、そういうのも乗り越えてまとめてもらって本当にうれしく思っています。

今、私たち大人を構成メンバーとする会議でも、この条例について検討しているんですね。そんな中で、課長からお話がありましたけど、今、中学生にアンケートをお願いしているんですよ。これから答えてもらうことになると思うんですけど、そのアンケートの中身についても、例えば条例の名称についてというのも項目に入っているんですね。その大人の会議の中では条例の名称については子どもたちに意見を聞く必要があるのだろうか、それはそうではないんじゃないかという意見が実はあったんです。やっぱり条例の名称は条例の中身を象徴するようなものだから、それは大人の責任においてメッセージ性の高いもの、内容がストレートに伝わるものという視点で決めていくべきではないかという意見も実はあったんです。でも、自分はやっぱり皆さんの意見、皆さんの立場で今思うことを聞きたいという思いがあって、アンケートの項目に入れさせてもらいました。

今日の発表を見ていても、それでよかったなと思っています。やっぱり条例は皆さんのものだし、これから生まれてくる子どもたちのためのものでもあるというふうに自分は思っているので、本当に今回の発表と議論の経緯を考えていただいたこと、すごくよかったなと思っています。

また、2日目の発表の際に、大人にお願いしたいことというものの中に、大人がまず自分らしくちゃんと生きてくれというようなメッセージというか、3班さんだったかな、あったんですよ。そのとおりだと思って、私たちがやっぱりしっかり自分らしく楽しく生きていかないと、いい世の中はなかなか難しいなと思って、すごくはっとしたんですね。そうした私自身の自分に対する気づきもありました。

今日、本当にたくさんの意見をいただいたので、こういった意見も踏まえて、これから条例をしっかり区としても責任を持ってつくっていきたいと思っています。本当に5日間、ありがとうございました。

◎区長室長

教育政策課長、お願いします。

◎教育政策課長

もう皆さんには本当に5日間、また子ども条例、また教育ビジョンに関係することということで、中身が濃くて難しい課題を本当に皆さん協力し合ってこんな形で表をまとめて発表していただいたと、本当にすごいなと率直に感動というか驚きというか、しています。

本当にそれぞれ個性がある発表をしていただいて、例えば1班さん、特に教育のと

ころですと一番初めに全国の学力調査の状況を出してもらって、そういう形でのエビデンスというんですかね、数字的な根拠をまず示してもらって発表につなげてもらったりというところで、それも一般社会のプレゼンで使えるようなそんなプレゼンをしてもらっていたり。また2班の方は、途中、特に2班さんはなかなか人数が元から少なくて、あと、また途中の過程でも、僕ものぞかせてもらったんですけど、ちょっとなかなか参加できなかった、人数が少なかった中で検討してもらって苦労されたのかなというふうにも思っているんですけども、そういった中でもやはり自分たちがどう行動するか、そんな視点で発表してもらったり。また、3班ですと本当に他の自治体の取組を調べてもらって、そういう中をまた皆さんなりに紹介してもらって、そこからまず解決策を出してもらおうといったような形で、それぞれ三者三様の発表をしていただいて本当にすごいなど。

今、自分が教育ビジョンの担当でいろいろ計画をどうすればいいかと考えているんですけども、そういう中でもやはりこれからのお子さんたち、皆さんに求められる力というのが、いろんな人と今日、連携・協働して、それでやっぱり課題に挑戦して解決を図っていく、そういうような人材がこれから求められるよというふうに我々も勉強している本とかの中では書いてあって。まさに皆さん、そういうような素養を本当に持っているんだな、ポテンシャルがすごく高いんだなというのをここで改めて感じることができました。本当にどうもありがとうございました。

またこれからもいろんなステージで活躍できるみんなだと思いますので、応援しています。どうもありがとうございます。

◎子ども未来課長

すみません。お疲れさまでした。ちょっと条例についていろいろ、今後どうやって進めたらいいのかなということを、終わった後でいいので、もしよかったら相談に乗ってください。すみません。ありがとうございました。

7. 感想

◎区長室長

それでは、本日は教育委員の皆様にもお越しいただいておりますので、感想を一言ずつついただきたいと思います。

初めに、〇〇〇教育委員（教育委員A）からお願いします。

◎教育委員A

大人の話が長くなりますけど大丈夫でしょうか。

今日は本当に皆さんありがとうございました。たった5回、プラスアルファがあったとは思いますが、その中でこれだけ素直に、本当はもっともっと言いたいことはたくさんあると思うんですが、それでも素直な気持ちを伝えてくださったということは本当にありがたいし、私たちはそのことをしっかり受け止めなければいけないなというふうに思っています。

お話しいただいたことの中で、先ほど教育振興部長からも話がありましたけれども、教育委員会の中でも話題になっていること、重なっていることがたくさんありました。

そのことは確実に皆さんたちの思いに届くようなことで行政の皆さんにしっかりと対応していただきたいなというふうに、そのまた私も後押しをしていかなければいけないというふうに改めて思ったところです。

今日、ここにはやまだ区長をはじめ、北区を動かしていらっしゃる方々が集まっていらっしゃるんですが、皆さん、聞いていてどう思われましたか。とても真摯に皆さんの言葉を受け止めてくださったというふうに感じているところがあるんじゃないでしょうか。私は、北区の教育委員というのは行政で具体的に進めている方々とちょっと違う立場ですので、そういう北区であることを大変誇りに思いました。先ほど都立校に行ってもらっしゃる方が、北区に貢献できてうれしいということをお話ししてくださいましたが、私もまたそういう北区に関われることを、また皆さんとこうやって直接会って話ができることを改めてうれしいなというふうに思っております。

基本的に皆さんは学習が分かりたい、そして生活をしていく上でお互いに分かり合って生活をしていきたい、基本のところはそこですよ。その基本のところが大人も子どもも関係なく生きていく上ではとても大事なことだというふうに思いますので、私どもも話し合いを進めていくときに一番人間として大事なことは何なのか、そのところを忘れずに北区教育委員として、これからも努めていきたいと改めて思いました。

本当に今日はありがとうございました。

◎区長室長

続きまして、〇〇〇教育委員（教育委員B）、お願いします。

◎教育委員B

皆さん、今日はお疲れさまでした。

5日間の間でこれだけの文章をまとめるというのは大変な努力があったんじゃないかなと思います。やはり皆様方がこのように北区のことを思って、子ども条例の前文をまとめるとか、そのような内容の中から皆さんの希望が私たちにもひしひしと伝わってきたわけでございます。このようなことを皆さんも経験したおかげで、将来、北区議会議員どころか北区長を狙える皆さんではないかなと思っております。

今日はありがとうございました。

◎区長室長

最後になりますが、〇〇〇教育委員（教育委員C）、お願いします。

◎教育委員C

皆様、本当に今日はお疲れさまでした。

5回という短い期間の中で、とてもまとまった発表をお聞きしまして、とても感動いたしました。皆さん、楽しかったというふうにおっしゃっていただく方が多かったんですが、他校の生徒とあまり関わり合いを持つことがほとんどないということだったので、今後はぜひこういったほかの形でも中学生が集まって、ほかの学校の方とお話をするような機会が多くなることを望んでおります。

それから、先ほどやまだ区長からの話にもありましたように、私からも、「今日ほかの学校の皆さんから貴重な意見をいただきました」という発表がありましたので、ぜひ自分の学校に戻って、この会議のお話だったり、自分たちの話をもっとどんどん

自分の学校の皆さんにもぜひお話をし、広めていただければと思います。

今後もますます、皆さんが活躍されますことを期待しておりますので、どうぞよろしく願います。今日はありがとうございました。

8 . 閉 会

◎区長室長

改めまして、皆さん、2週間にわたって中学生モニターとしてのご活動をいただきまして、本当にありがとうございました。本日ももうこのモニターの活動は終了となりますが、先ほどお話が出ていますけど、もう班の中、班を越えてもお友達になったりとかできたかもしれませんし、こういうつながりを大事にしてほしいなと思います。

暑い日が続くので、本当に熱中症、体調に気をつけながら、まだ2年生、1年生なので、勉強だけじゃなくていろんな経験をして学んで、それを自分の糧にしてほしいなと思います。

今日のこの経験も、もしかしたら区の教育が動くかもしれないですね。そうすると、皆さんはそういったときの歴史の大転換点にいたかもしれない。どなたか教育委員さんも言ったけど、やがて区議会とかそういったところを目指してもらってもいいかもしれませんけれども、そんなことを今日聞いたのも1つの夏の財産なのかなと思っています。

改めましてこの2週間の活動にお礼を申し上げますとともに、これからのご活躍を一同から期待したいと、ご活躍をお祈りしております。本当にありがとうございました。

以上をもちまして、中学生モニター会議の発表会を終了とします。今日でもうおしまいなので、忘れ物のないよう願います。本当にありがとうございました。

令和5年度「中学生モ二夕一会議」

活動記録

令和5年11月

刊行物登録番号 5-1-077

編集発行 北区総務部区長室

東京都北区王子本町 1-15-22

電話 03(3908)1102